

2025年度第1回研修会ご案内

高次脳機能障害支援普及事業



失語症のある人の地域資源

一失語症友の会から失語症者向け意思疎通支援制度まで一

全国に約50万人いると推測される失語症の方々は、病前の言語機能を取り戻すことが難しく、困難を抱えながら生活しています。臨床では地域生活にも目を向けることが重要です。地域資源のひとつである「失語症友の会」は、各地域でピアグループとして大きな役割を果たしています。近年は自治体による失語症者向け意思疎通支援制度も整備が進んでおり、今回はその活動と支援の広がりについてご講演いただきます。

講師

一般社団法人東京都言語聴覚士会
失語症者向け意思疎通支援事業
担当理事 黒川容輔

日時 2025年12月3日(水)17:30-18:30

オンライン配信

2025年12月12日～1月12日オンデマンド録画配信

お申し込みはこちら

参加申し込みは <https://x.gd/Rw2R5H> QRコードからもお申込みいただけます。申込された方に当日のURLとオンデマンドのお知らせをご送付します。

【お問い合わせ先】

慶應義塾大学病院リハビリテーション科
主催：東京都高次脳機能障害支援普及事業（区西部）
共催：東京都地域リハビリテーション支援センター（区西部）

住所：東京都新宿区信濃町35
担当：赤崎 孝大（事務局 花田）
電話：03-3353-1211(代)
メール：keiorehab@gmail.com

